

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立兼六中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0924

石川県金沢市田井町 12-12

E-mail kenroku-j@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/kenroku-j/

幼児児童生徒数 男子 401名 女子 346名 合計 747名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は創立 70 周年を迎え、親子 2 世代、3 世代にわたって兼中生という家族も少なくない。校区は南北に細長く地区ごとに様々な表情が見られる、北は観光拠点である金沢城・兼六園を含む城下町風情が残る町並みに近代的なビル群が続いている。南部地域は、卯辰山や浅野川沿いの緑豊かな自然に恵まれる一方で、杜の里地区周辺の商業開発が飛躍的に進んでおり、また、かつてのどかな田園風景の見られた田上・太陽が丘・角間地区は、洗練された新興住宅・学園都市となっている。平成 24 年度、ユネスコスクールの指定を受け、継続的に「食と健康」「伝統文化や人とのつながり」「環境」を主要テーマとして持続発展教育の実践に取り組んでいる。

①総合的な学習の時間の取り組み

本校では、「金沢学びタイム」と称して調べ学習を行うことで、生き方を学ぶとともに、地域、歴史および文化を知り、郷土金沢への愛着と誇りを持てる取り組みをしている。この取り組みを通して、課題の見つけ方や解決する方法を学び、課題を追求解決していく力を身に着けた持続可能な社会の担い手の育成をめざしている。

【第1学年】 「金沢新聞」

1年生では、歴史都市金沢を継承する歴史・伝統文化などについて、一人ひとりがテーマを設定し、図書資料やインターネットなどで調べたことを新聞にまとめ発表した。この活動を通して、情報収集の仕方、まとめ方を学ぶことができた。

【第2学年】 「金沢パンフレット」

2年生では、金沢の魅力を発信するパンフレット作成を行った。事前学習で自主プランをたて、その後、金沢の伝統工芸または文化的景観についての良さをみつけ、それらを継承していこうとする気持ちを学習することをねらいとした。自分たちの住む金沢の良さを再発見する良い機会となった。

【第3学年】 「かなざわPR」

3年生では、金沢出身の偉人、金沢の歴史・自然・文化等について、各自がテーマを設定して調べ学習をおこない、パワーポイントで発表会をおこなった。改めて金沢の文化についてふれ、見識を広めることができた。

②「手作りお弁当の日」の計画・実践

2、3年生の生徒全員が各自栄養や味のバランスを工夫した弁当の献立をたて、カムカムメニューコンテストを開催し、実際に作る機会を設定した。2年生は事前学習として、家庭科の授業で加賀野菜など地域の食材を取り入れた弁当作り「いしかわ元気弁当」の調理実習を行った。班ごとにクラスで発表。校内掲示をした。「お弁当の日」当日（校内写生会の日）は、各自がお弁当を自分で手作りした。完成した弁当の写真を撮影。事後の取り組みとして、家庭科の授業で弁当の写真に工夫したことを記入し、メッセージを交換しながらグループで相互評価をした。食の大切さを実感できる活動となった。

③思い出のランドセルギフト

生徒会では、二年連続で、金沢東ライオンズクラブを通して、アフガニスタンへランドセルを送る活動を行った。この活動は、地域の方に呼びかけをし、もうすでに使用されなくなったランドセルを回収し、文房具とともにアフガニスタンに送る活動であった。この活動は大きな反響を呼び、校区外からもたくさんのランドセルが集まった。世界的な視点で問題を捉えることや、物のリユースに対する意識の向上にもつながり、有意義な活動となった。

④環境への取り組み

生徒会では以下の活動を通して、環境問題に関心を持つように取り組んだ。

ア リサイクル活動

生徒一人ひとりが限りある資源を大切にしようとする心を育成するために、年間3回のリサイクル週間を設定している。各家庭で集めた新聞紙や広告、牛乳パックを生徒が持ってくる方法で行うこの活動は、17年以上続いており、保護者の理解、協力を得ている。

イ クリーン活動

8年前の浅野川氾濫を機に、浅野川の河川敷の清掃活動を通して地域に貢献しようということから、クリーン活動を行っている。この河川敷は人々の通勤・通学や散歩コースであり、地域にとっては身近な場所の一つである。生徒一人ひとりが自宅から自分の清掃区域まで移動しながらゴミ拾いを行い、その後、部活動単位で割り振った清掃区域の清掃を行う。回収したゴミは種類ごとに分類を行う。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 指定した時)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

華やか金沢(書籍)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の一部として位置付けると共に、生徒会活動の一部にも関わらせている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

②に同じ

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各学期毎の活動状況の職員間でのチェックにより、他校との連携をさらに模索する必要性が課題となった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

なし

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

「思い出のランドセルギフト」の際に、地域のライオンズクラブ等との連携。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

生徒達のアフガニスタン等の子どもたちへの興味・関心の高まり。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

・「金沢調べ」やお弁当に加え、来年度も「思い出のランドセルギフト」の活動の継続。